

# TC-160-15W カットコア使用 チョーク・コイル

# 4コトランス

本機をプレート負荷として使えば、抵抗負荷に比べてここでの直流電圧降下が少なく、電源電圧の利用率が良くなります。また中域における真空管の交流負荷は、次段のグリッドリーク抵抗のみとなりますので動作特性上有利です。

直熱3極管はグリッド電流が流れ易いのですが、そのグリッド抵抗の代りに本機を使えば、直流抵抗が低いので真空管の動作が安定します。

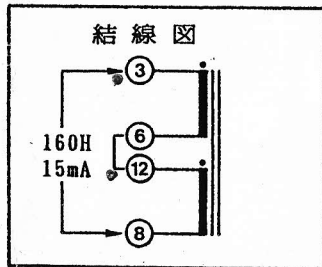
もちろん電源のフィルター・チョークとして使用した場合も、バランス巻と磁気シールドの効果により漏洩磁束の発生が僅少でハイクラスなチョーク・コイルとなります。

## 規格

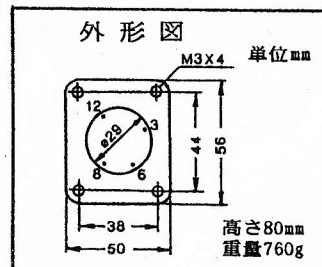
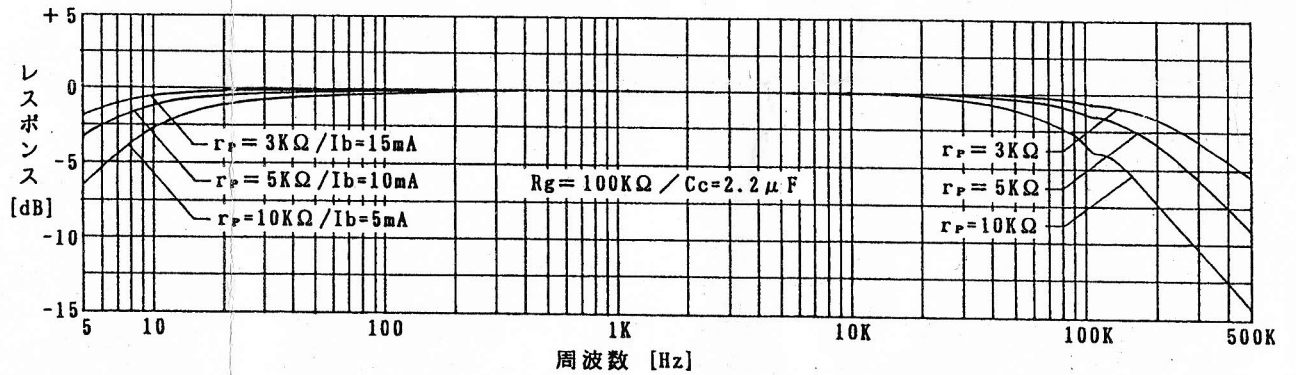
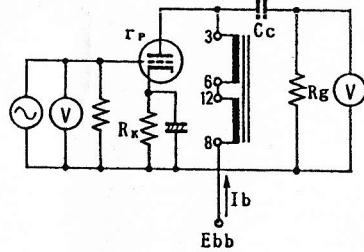
- ◆インダクタンス 160H/DC15mA, 170H/DC0mA…巻線シリーズ  
5V, 50Hz 40H/DC30mA, 43H/DC0mA…巻線パラレル
- ◆許容電流 DC20mA…巻線シリーズ  
DC40mA…巻線パラレル
- ◆レスポンス 12Hz~80KHz ( $r_p = 5K\Omega$ ,  $I_b = 15mA$ ,  $R_g = 100K\Omega$ ) …図①  
(-1dB, 巻線シリーズ) 12Hz~50KHz ( $r_o = 10K\Omega$ ,  $C_c = 2.2\mu F$ ) …図②
- ◆最大励振電圧 200Vrms/20Hz…巻線シリーズ
- ◆最大B電圧 DC1000V
- ◆巻線直流抵抗  $580\Omega \times 2$
- ◆使用真空管例 6SN7, 76, 6350, 6AH4, 6V6 (T)

## 動作例

- ◆プレート・チョーク 6SN7 (1/2),  $E_{bb} = 250V$   
 $R_k = 820\Omega$ ,  $I_b = 8.9mA$   
 $C_c = 2.2\mu F$ ,  $R_g = 100K\Omega$   
12Hz~50KHz (-1dB)
- ◆グリッド・チョーク 6SN7 (1/2),  $E_{bb} = 300V$   
 $R_k = 1K\Omega$ ,  $R_L = 33K\Omega$   
 $I_b = 4.6mA$ ,  $C_c = 4.7\mu F$   
7Hz~50KHz (-1dB)



① プレート・チョーク



② グリッド・チョーク

